



平成26年度 フードバレーとまち講演会

# 農から始まるイノベーション！



広大な農地と青空が広がる実り豊かなここ十勝は、大規模畑作・畜産を基幹産業とし、日本の食を支える「食料供給基地」として発展してきました。

しかし、全国的な人口減少や都市部への人口一極集中など、地方社会をめぐる情勢は厳しさを増しており、十勝も例外ではありません。

十勝においても地域の強みである「食と農業」を中心にイノベーションを起こし、地域産業の活性化、雇用の創出を図ることが重要です。

そこで、「イノベーション・マネージャー」育成の専門家である北海道大学の荒磯特任教授と、実際に農業からイノベーション創出の実践に取り組んでいる（株）イソップアグリシステムの門脇代表を講師としてお招きし、十勝におけるイノベーション創出のあり方を探ります。

## 講演1 「イノベーション創成のプレイヤー」

講師：北海道大学産学連携本部 荒磯恒久 特任教授

## 講演2 「畑から取り組むイノベーション ～情報技術と農業の融合～」

講師：（株）イソップアグリシステム 門脇武一 代表

# 平成27年2月26日（木）

時間

13:30～16:30

（開場 13:00）

会場

とまちプラザ 視聴覚室

（帯広市西4条南13丁目1）

参加費  
無料

定員  
100名



主催：帯広市、フードバレーとまち推進協議会

後援：一般社団法人北海道中小企業家同友会とまち支部

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター

地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部十勝農業試験場

【お問合せ先】フードバレーとまち推進協議会 事務局

住所：〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 帯広市役所産業連携室内

電話：0155-65-4163 FAX:0155-25-8254

## 講師概要



**荒磯 恒久**  
(あらいそ つねひさ)

日本における最適な「産学官連携の姿」を見出し、それを実現するための人材の育成を専門分野としている。

【略歴】2001年～2012年 北海道中小企業家同友会産学官連携研究会HoPEの設立に携わり運営委員長。

2005年～2007年 NPO法人産学連携学会会長。

2009年～2012年 北海道大学産学連携本部副本部長。

2010年6月 第8回産学官連携功労表彰経済産業大臣賞受賞。

2012年4月 現職。文部科学省事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」におけるイノベーションマネージャー育成プログラム開発研究を担当

(株)イソップアグリシステム (HP <http://www.okhotsk.or.jp/isopp/index.html>)



北見市の約20haの農地で小麦・大豆・たまねぎ等を生産するとともに、大豆・小麦の加工品の生産・販売も手掛ける。

「イソップ」とは、「ISO14000、HACCP、Precision Agriculture:精密農業」をもじったもので、「IT活用による新しい営農システム」というコンセプトの下、環境保全、工程管理、品質管理など科学的に意思決定できる農業を目指している。

また、大豆の効用を探求し、大豆を核にした医食同源型フードシステムの構築を進めるなど、新たなフードビジネスの創出に取り組んでいる。

## 講演スケジュール

13:30 開会 (開場13:00)

13:35 講演1 「イノベーション創成のプレイヤー」 北海道大学 荒磯特任教授

15:00 講演2 「畑から取り組むイノベーション」(株)イソップアグリシステム 門脇代表

16:00 総合討論・意見交換

16:30 閉会

## フードバレーとがち講演会 参加申込書

帯広市産業連携室

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1

TEL 0155-65-4163

申込締切 平成27年2月17日(火) **FAX 0155-25-8254**

所属機関名			
住所			
電話番号		F A X 番号	
Eメール			
出席者	部署名 / 役職	氏名	

※ 参加のお申し込みは、「参加申込書」に必要事項を御記入いただき、FAXにてお申し込みください。定員に達した場合、締め切り前に受付を終了する場合がございますのでご注意ください。